年頭所感

内閣総理大臣
安倍 晋三
自由民主党総裁

新しい時代に向けた国づくりを力強く推進

新年あけましておめでとうございます。

いよいよ、東京オリンピック・パラリンピックの年が幕を開けました。

1964年、10歳の時に見た東京五輪は、今も、私の瞼に焼き付いています。身体の大きな外国選手たちに全く引けをとらない日本人選手の大活躍は、子どもたちに、未来への希望を与えてくれました。

「人間、夢があるからこそ成長できる。いつの時代も『夢見る力』が大切なんです。」

東京五輪、重量挙げ金メダリスト、三宅義信選手の言葉です。

半世紀を経て日本に再びやってくるオリンピック・パラリンピックも、子どもたちが未来に向かって、夢を見ることができる、わくわくするような、すばらしい大会にしたいと考えています。

昨年、ほぼ200年ぶりの皇位継承が行われ、令和の新しい時代がスタートしました。オリンピック・パラリンピックを経て、5年後には、大阪・関西万博。

未来への躍動感があふれている今こそ、新しい時代に向けた国づくりを力強く進める時です。

3歳から5歳まで、全ての子どもたちの幼児教育が無償化されました。この奉から、真に必要な子どもたちの高等教育の無償化が始まります。未来を担う子どもたちの未来に、大胆に投資していきます。

人生100年時代の到来は、大きなチャンスです。働き方改革を進め、女性も男性も、若者もお年寄りも、障害や難病のある方も、誰もが活躍できる一億総活躍社会をつくりあげていく。

全ての世代が安心できる社会保障制度へと改革を進め、最大の課題である少子高齢化に真正面から挑戦していきます。

我が国の美しい海、領土、領空は、しっかりと守り抜いていく。従来の発想に捉われることなく、安全保障政策の不断の見直しを進めます。激動する国際情勢の荒波に立ち向かい、地球儀を俯瞰しながら、新しい日本外交の地平を切り拓いてまいります。

未来をしっかりと見据えながら、この国のかたちに関わる大きな改革を進めていく。その先にあるのが、憲法改正です。令和2年の年頭にあたり、新しい時代の国づくりへの決意を新たにしています。

安倍内閣に対する国民の皆様の一層の御理解と御協力をお願いいたします。本年が、皆様一人ひとりにとって、実り多き、素晴らしい一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

令和2年1月1日

積極的に地域振興発展に寄与

清松総合鐵工株式会社
代表取締役社長　清松 芳夫

世界500人の社長・頂位写真
KENJA GLOBAL

新年明けましておめでとうございます。昨年も更なる飛躍の年になりました。会社の理念として「人を成長させるのは評価や批判ではない。ましてや非難や否定では決してない。それは承認である」という『承認だけで成り立つ会社』を打ち出して以来、社長格付サイトKENJA GLOBALで世界500人の社長に選ばれたり、有名な情報メディアであるThe New York Timesにも取材を受け「The Next Era Leader's 2020」(2月1日サイトオープン)にも選出されました。また、FM大分で「よっしゃキヨマツのあなたの未来」という冠番組を持ってこになり、日曜日の午後6時～毎週放送しています。講演も小学校や倫理法人会を中心としてたくさんのお招きを受け、別府市のB-CONプラザで行われた「おおいた総合もの づくり展2019」でもお話をさせて頂きました。このような講演活動も含めて、今年はさらに発信することを意識していこうと思っています。

また、宇佐市高校生の資格取得をサポートするための寄附金は今年も行いました。さらに地元尾水井地区への寄附も昨年から始めました。今後も地域振興発展のために我社で出来ることは続けて行きたいと思っています。県内スポーツの振興にも努力をしています。今年も大分トリニータやヴェルスパ大分などのサッカーチームや昨年ムエタイ日本チャンピオンになった高瀬麗斗とのスポンサー契約を更新しています。

このような活動と合わせて、毎月月初に行っている公開朝礼も、毎回社外からも多くの見学・視察の方が来られます。12月の朝礼は40人近くのゲストさんが来られて、我社の社員の数を超えてしまいました。皆さんは「社長講話もためになるけど、社員の一人ひとりがとっても明るく、積極的なこと。『イイネ！運動』や『ええじゃないか運動』等取り組みがも面白いし、さっそく我社に持って帰って取り入れたい」と言ってくれます。当面の目標であった「35億売ってハワイに行こう！」も今年は達成できる予想です。

今年もさらに精進を重ねていく所存ですので、皆様方のご支援ご協力を我社に賜りますようお願い申し上げます。年の初めにあたり皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶と致します。

清松総合鐵工㈱

「AI時代の生き抜き方」

武蔵東小学校で補習授業

清松総合鐵工㈱（清松芳夫代表取締役社長、本社：大分県宇佐市大字尾水井470-1）はこの度、国東市立武蔵東小学校（糸永敏明校長）で2時限の補修授業を行った。

補習授業の演題は「AI時代の生き抜き方」について。清松社長が『「貯金はするな！」『努力は報われない』として、まず「①人はイメージしたことを実現しようとする②ポジショニング③人は他人の考えを変えることができない。これは、過去→今→未来があり、ポジティブは明るい未来、ネガティブは暗い未来へ繋がる。『「貯金はするな！」とは、本を買うと良い。『努力は報われない』ということは、これは他人からの評価であり、自分の未来のための努力をすれば良いということ」を児童に分り易くユニークに話し、「自分の未来のために本を多く読んで学び、ポジティブに創造力を高めることで、ものづくりという AI 時代の生き抜き方を」と熱く語り、質疑応答のあと、参加した児童皆で「いいね！」と声を合わせた。

清松社長は「大人が輝けば子供が輝く。子供が輝けば未来が輝く」という信念のもと、次世代を担う若者の教育にも情熱を傾けている。昨年11月14日には、国東市立武蔵東小学校において高学年に向けて特別授業も行っている。同社が毎月の月初に行っている公開朝礼に糸永敏明校長が参加してその内容に感激し、是非児童にも伝えたいことで、特別授業が実現。

授業後、多くの児童が感動して全員がその感想文を送って来た。児童達から「もう一度、清松社長の話が聴きたい」との希望を受けて、この度補習授業をすることにしたのである。

〈補習授業する清松社長〉

清松総合鐵工㈱

元年大忘年会を開催

マグロ解体ショーやライブショー

清松総合鐵工㈱（清松芳夫代表取締役社長、本社：宇佐市大字尾水井470-1）はこの頃まで、令和元年大忘年会を同社1F休憩室で盛大に開催した。

よっしゃキヨマツのちょっとヒケクレい話

総合司会は、OAB大分朝日放送「金曜の鍵」でお馴染みフリーアナウンサーの霜村香帆さん。駆け付けた有名人が紹介されたあと、来賓の内閣府特命担当大臣の衛藤晟一参議院議員、元防衛大臣の岩屋毅衆議院議員がそれぞれ祝辞。このあと、九重町民劇場のミュージカルショー、ムエタイプロ選手Reito Bravely ショー、人気香港家の三亜野文結氏による書道パフォーマンスで『承認だけで成り立つ会社』が披露され、電子書籍美容・健康部門第1位の三浦久美ヨーカンジョーさん、同社従業員や参加者の注目を集めた。

超話題の「よっしゃキヨマツのちょっとケヒクレい話」特別表彰（イイネ！大賞）、大忘年会記念ライブは次の時代の人気音楽ユニット『まゆたま』のライブステージ、プロ野球広武ベル選手の歌唱も務めた麻付（Vo）の透き通る声を軸に、上文字清りその骨に当たる部分で坪井洋（Drs）と森田暁美（Key）の香りや景色まで想起させるアレンジは新しいポップスで会場を盛り上げた。

各ブースが紹介され、今回も昨年大好評だった「マグロの解体ショー」も引き続き行われ、TEM ～メリッサによるベリーダンス、賞品総額250万円の大ビンゴ大会が行われ、最後に記念の集合写真を撮った。

同社はビルや工場等の建物の基盤となる鉄骨を製造する会社。鉄骨というのは、人間の身体に例えるとり「大忘年会」を開催した。

〈参加者〉

〈マグロ解体ショー〉